



目次

- ◆事務局からのお知らせなど 1
 - eBird のデータでつくる地図 1
 - キャンペーン「バードウォッチングウィーク！身近な水鳥を eBird に投稿しよう」 2
 - 「野外鳥類学講座 2023 調査の企画・実施編」のご案内 3

- 連携団体(支部等)向け卸販売をご利用ください 4
- (ご報告) 日本野鳥の会江別支部の認定取り消しについて 4
- 会員数 4

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■eBird のデータでつくる地図

eBird の日本語サイト「eBird Japan」をオープンしてもうすぐ 2 年となり、参加者も 5 千人を超えました。eBird のデータは地点ごとの調査努力量に大きな偏りがあるため、ダウンロードしただけでは、増減傾向などを見ることは簡単にはできません。しかし、その場所に特定の鳥がいたという情報は誰でもすぐにわかります。そこで投稿いただいたデータの活用方法を試す目的で、「2021 年 12 月～2022 年 2 月」と「2022 年 12 月～2023 年 2 月」の 2 越冬期のデータから、鳥類の全国的な分布図を作成しました。eBird のデータからできあがった地図で、どのくらい実際の分布状況を知ることができるのかをチェックするために、今年の 2 月に日本野鳥の会とバードリサーチで発行した「全国鳥類越冬分布調査報告 2016-2022 年」と同じ手法で地図を作成して並べてみました。

◎地図のデータは、eBird Japan ポータルサイトからダウンロードできます。

https://ebird.org/japan/news/maps_created_from_ebird



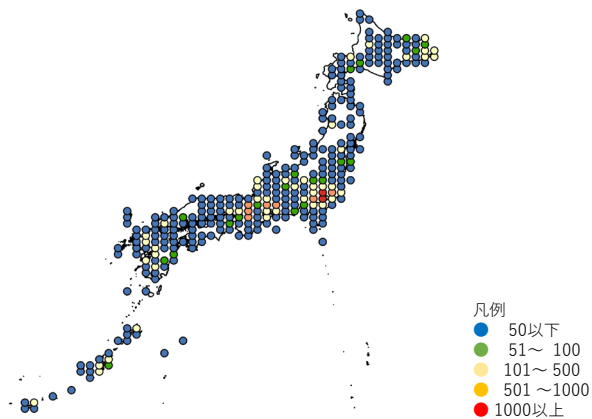
©2023 HAGIWARA Y.hei

表は、優占種（その鳥が記録された多い順）の上位 20 種を示したものです。多少の順位の入替わりはありますが上位 20 種はほとんど変わりがありませんでした。

順位	和名/記録メッシュ数	EBIRD
1	ヒヨドリ	241
2	ハシブトガラス	227
3	トビ	217
4	ハシボソガラス	210
5	マガモ	203
5	シジュウカラ	203
7	ツグミ	201
8	スズメ	199
9	ハクセキレイ	194
10	カルガモ	185
11	カワウ	184
12	アオサギ	180
13	ヒドリガモ	175
14	コゲラ	173
15	キジバト	170
15	オオバン	170
17	ジョウビタキ	170
18	ダイサギ	167
18	コガモ	167
20	ノスリ	163
20	ヤマガラ	163

順位	和名/記録メッシュ数	越冬分布調査
1	ヒヨドリ	328
2	ハシブトガラス	325
3	ツグミ	301
4	シジュウカラ	299
5	ハシボソガラス	293
6	トビ	286
7	マガモ	282
8	スズメ	279
8	コゲラ	279
10	ハクセキレイ	273
11	カルガモ	269
12	ヤマガラ	266
13	コガモ	257
13	エナガ	257
15	カワラヒワ	256
16	アオサギ	255
17	オオバン	248
17	ジョウビタキ	248
19	ノスリ	248
20	カワウ	246
20	ヒドリガモ	246

たった2年分のデータですが、こうした状況です
で、種によって同じ傾向を見て取れるもの、データ不
足と言わざるを得ないものなどがありますが、5年に
一度ぐらいのペースでこうした地図を作っていけば、
主要な種については越冬地の変化を検討できると思わ
れます。越冬期の分布変化は温暖化の影響を反映する
ことも考えられますので、こうしたデータの活用を行
っていきたいと思います。



図は、全国を40×40kmのメッシュに分けて、その
メッシュで投稿されたチェックリストの数を示したも
のです。白い場所は全く投稿のなかった場所です。大

都市周辺や有名な探鳥地では投稿が多いという偏りが
見られます。お住いの地域からの投稿が少ない方は積
極的にeBirdを使っただけであればありがたいです。

今回使ったデータは、eBirdのユーザーであれば誰
でもダウンロードして使えるものですので、連携団体
のエリアの地図を作ることも可能です。eBirdとその
データの活用について、何かご不明な点などありまし
たら、財団事務局自然保護室・eBird担当（E-mail:
ebirdjapan@wbsj.org）までお問い合わせください。

（常務理事/葉山政治）

■キャンペーン「バードウォッチングウィーク！身近な水鳥をeBirdに投稿しよう」

財団事務局では、より多くの方にeBirdを利用して
いただけるよう、11月1～7日のバードウォッチング
ウィークに、いつでも好きな時にバードウォッチング
をして、eBirdに情報を寄せていただくキャンペーン
を実施します。今回のテーマは「身近な水鳥」です。
公園の池や近くの川など、身近な水辺で見られる鳥を
観察して、eBirdに投稿してください。観察対象種の
水鳥3種（ヒドリガモ、マガモ、オオバン）をすべて
見た方、7日間毎日投稿した方には、素敵なプレゼン
トも！ キャンペーンに合わせて、野鳥識別アプリ
「Merlin」の使い方を紹介するオンラインセミナーや、
野外でeBirdの使い方を学ぶ講座も開催します。

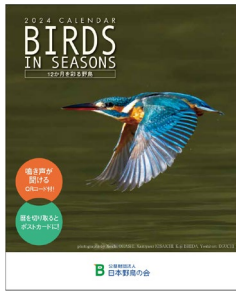
【キャンペーン「バードウォッチングウィーク！身近
な水鳥をeBirdに投稿しよう」の概要】

- 期間：2023年11月1～7日（バードウォッチング
ウィーク）
- 参加方法：期間中いつでも、好きな時間にバードウ
ォッチングをして、見た鳥をアプリ「eBird モバイル」
またはポータルサイト「eBird Japan
<https://ebird.org/japan/home> から投稿してくださ
い。
- 参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方の
うち、
- ①サントリー特別賞：観察対象種（水鳥3種：ヒドリ
ガモ、マガモ、オオバン）をすべて見た方10人
（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールデ
ィングス株式会社提供の「ステンレス製真空タンブ
ラー『クマタカ』（数内正幸イラスト）」をさしあげ
ます。



協力：数内正幸美術館

②日本野鳥の会賞：7日間毎日チェックリストを投稿した方 10人（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダーと、今治タオルハンカチ・カワセミ」をさしあげます。



●キャンペーンの詳細、関連講座については、ホームページをご覧ください。

<https://www.wbsj.org/activity/event/campaign-ebird-20231101/>

（自然保護室／岡本裕子）

■「野外鳥類学講座 2023 調査の企画・実施編」のご案内

●「野外鳥類学講座 2023」参加者募集！

野鳥の観察を一步進めて生態の調査を行ない、集めたデータを集計し、まとめていくことで、鳥のくらしのいろいろなことがわかってきます。野鳥のことをより身近に知るきっかけになり、保護活動を進めるうえでも役立ちます。

本講座では、研究者や専門家から調査方法やデータのまとめ方等を学んだのちに、各人が実際のテーマを見つけて、調査の企画・実施・発表までを体験します。野鳥の調査研究に関心のある方、また、これから調査研究を始めたい方のご参加をお待ちしています。

【日時】

2023年11月23日(木・祝)13:00～11月26日(日)16:30、
2024年2月3日(土)13:00～16:30

【会場】

(公財)日本野鳥の会 西五反田事務所 及び東京都立東京港野鳥公園

【定員】 15名

【対象】

鳥類の調査研究をこれから行なってみたくと考えている人、実際に行なっている人

【参加費】

15,000円(保険料、東京港野鳥公園の入園料を含む)。

【概要】

講義では、鳥類の見分け方やカウント方法、生息環境との対比、行動の観察方法等、基本的な調査方法と、論文にするまでの流れを学んだのちに、野外で各自がテーマを見つけ、調査の企画・実施・まとめを行ない、発表し合います。

・1日目 講義

(1)野外鳥類学の魅力、面白さ/(2)鳥の行動研究/(3)鳥と生息環境

・2日目 講義

(4)観察から見えてくる野鳥のくらし/(5)鳥の行動の観察法/(6)調査の保全への応用/(7)有意差とは？—統計の初歩/(8)まとめやすいデータの取り方

・3日目 講義及びフィールド講習(東京港野鳥公園)

(9)東京港野鳥公園で見られる鳥/(10)フィールドワークの基本/(11)フィールドでの調査テーマの見つけ方
フィールド講習：フィールドで調査テーマを探そう

・4日目 講義

(12)調査結果を論文として発表しよう/調査計画作成・調査計画発表

・5日目 発表

※遠方からの参加者はオンラインでの発表可

【講師】

上田恵介(日本野鳥の会会長、Strix 編集長)

濱尾章二(国立科学博物館動物研究部グループ長)

松本祥子(東京環境工科専門学校教員)ほか当会職員

【申込方法】

＜申込締切＞ 2023年11月15日(水)

＜お申込み＞ 参加を希望される方は、以下の項目をご記入いただきEメール(coursework@wbsj.org)

またはFAX(03-5436-2635)でお申し込みください。

・[件名]「調査の企画・実施編申込」

・[記入項目](1)お名前(ふりがな)、(2)生年月日(保険加入のため)、(3)連絡先(住所、電話、Eメールアドレス)

※お申込み受付後、詳細や持ち物などの資料をEメールでお送りします。

★ホームページでも詳細ご確認いただけます。

URL:<https://www.wbsj.org/activity/event/outdoor-bird-lecture4/>

【お問い合わせ】

(公財)日本野鳥の会 自然保護室 担当：山本

TEL:03-5436-2633(月～金 10:00～17:00)

FAX:03-5436-2635

Eメール：coursework@wbsj.org

(自然保護室／山本裕)

■普及室より

■連携団体(支部等)向け卸販売をご利用ください

通販カタログ「バードショップ」2023 秋冬号が発行となりました。

会員の皆さまには、会誌「野鳥」9・10月号と同封してお届けしております。販売事業ご担当の皆さまには、連携団体(支部等)向け卸販売のご案内と合わせてお届けしております。

販売を通じて、バードウォッチングや自然保護の輪が広まるとともに、販売収益が支部活動の一助となれば幸いです。ぜひご利用ください。

●秋冬号のオススメ新商品

～あっという間に年末です～

今年も12か月間美しい野鳥を楽しめるカレンダー「ワイルドバード・カレンダー」、「バース・イン・シーズンズ 卓上カレンダー」、「しあわせことりカレンダー」の3種があります。自然や野鳥の魅力にあふれる写真を厳選しました。

また、日本野鳥の会オリジナル年賀はがきの予約もスタートしています。今年は縁起が良いと言われているツバメ、エゾフクロウ、竜(辰)がモチーフです。

～防寒対策グッズあります～

野外はもちろんのこと、屋内でもあたたかく過ごせるよう湯たんぽやインナーなど紹介しています。他にも最新の光学機器や、野鳥モチーフの雑貨など。

●支部卸販売のご注文、お問い合わせ

普及室 販売出版グループまでお願いいたします。

TEL: 03-5436-2623

FAX: 03-5436-2635

Email: r-hanbai@wbsj.org

スマホでカタログが見れる、web カタログも公開中！／

(リンク先)

https://www.birdshop.jp/DGcatalog23aw/book/#target/page_no=1

(読み取り用 QR コード)



(普及室/森谷机珠瑠)

■総務室より

■(ご報告)日本野鳥の会江別支部の認定取り消しについて

日本野鳥の会江別支部の連携団体認定取り消しについて、9月28日開催の2023年度第4回理事会にて承認されました。

同支部から連携団体(支部等)認定取り消し申請が提出され、また、全支部会員には、同支部から既に支部の存続及び財産の帰属についての報告も済んでおります。これにより、1960年に設立された同支部が63年の歴史に幕を下ろすことになりました。長い間の活動に心から敬意を表し、謹んでお知らせいたします。

(総務室室長/五十嵐真)

■会員数

10月2日時点の会員数は33,456人で、先月と比べ16人増加しました。

9月の入会・退会者数(表1)をみますと、入会者数は退会者数より21人多くなっています。

9月1日付の入会者数は128人で、前年同月の入会者数137人と比べ9人減少しました。

また、9月末日付の退会者数は107人で、前年同月の退会者数124人と比べ17人減少しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 9月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	3 人	8 人
総合会員(おおぞら会員)	24 人	26 人
本部型会員(青い鳥会員)	14 人	18 人
支部型会員(赤い鳥会員)	63 人	40 人
家族会員	24 人	15 人
合計	128 人	107 人
年度累計	1,033 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

※上記集計は速報値になります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数(10月2日時点)

都道府県	会員数	前月比
北海道	1,591 人	3 人
青森県	216 人	-2 人
岩手県	333 人	0 人
宮城県	529 人	0 人

秋田県	241 人	-1 人	旭川支部	78 人	0 人
山形県	221 人	0 人	滝川支部	39 人	0 人
福島県	515 人	-2 人	道北支部	25 人	0 人
茨城県	841 人	0 人	江別支部	0 人	-21 人
栃木県	803 人	-3 人	札幌支部	300 人	3 人
群馬県	587 人	0 人	小樽支部	52 人	-2 人
埼玉県	1,955 人	-2 人	苫小牧支部	157 人	0 人
千葉県	1,454 人	1 人	室蘭支部	125 人	0 人
東京都	4,656 人	18 人	道南檜山	67 人	0 人
神奈川県	3,111 人	-1 人	青森県支部	115 人	0 人
新潟県	337 人	-1 人	弘前支部	109 人	-1 人
富山県	191 人	-1 人	秋田県支部	231 人	-1 人
石川県	262 人	1 人	山形県支部	211 人	0 人
福井県	217 人	0 人	宮古支部	68 人	0 人
山梨県	256 人	1 人	もりおか	147 人	0 人
長野県	833 人	4 人	北上支部	88 人	0 人
岐阜県	473 人	1 人	宮城県支部	493 人	-1 人
静岡県	1,202 人	-5 人	ふくしま	130 人	0 人
愛知県	1,559 人	-1 人	郡山支部	141 人	-2 人
三重県	440 人	0 人	白河支部	20 人	0 人
滋賀県	324 人	5 人	会津支部	52 人	0 人
京都府	803 人	2 人	奥会津連合	5 人	0 人
大阪府	1,881 人	5 人	いわき支部	92 人	0 人
兵庫県	1,257 人	3 人	福島県相双支部	15 人	0 人
奈良県	459 人	-1 人	南相馬	20 人	0 人
和歌山県	208 人	0 人	茨城県	747 人	1 人
鳥取県	227 人	3 人	栃木県支部	789 人	-6 人
島根県	211 人	0 人	群馬	515 人	-1 人
岡山県	549 人	-2 人	吾妻	45 人	0 人
広島県	576 人	0 人	埼玉	1,450 人	0 人
山口県	317 人	-1 人	千葉県	884 人	0 人
徳島県	325 人	-1 人	東京	2,628 人	15 人
香川県	199 人	3 人	奥多摩支部	758 人	9 人
愛媛県	352 人	0 人	神奈川支部	2,033 人	0 人
高知県	99 人	-1 人	新潟県	260 人	-1 人
福岡県	1,177 人	-3 人	佐渡支部	33 人	0 人
佐賀県	213 人	2 人	富山	171 人	-1 人
長崎県	209 人	-3 人	石川	241 人	1 人
熊本県	354 人	-1 人	福井県	214 人	1 人
大分県	215 人	-1 人	長野支部	403 人	4 人
宮崎県	235 人	1 人	軽井沢支部	149 人	0 人
鹿児島県	322 人	-3 人	諏訪支部	238 人	1 人
沖縄県	81 人	-1 人	木曾支部	20 人	0 人
海外	10 人	0 人	伊那谷支部	73 人	0 人
不明	30 人	0 人	甲府支部	188 人	-1 人
全国	33,456 人	16 人	富士山麓支部	52 人	1 人
			東富士	57 人	0 人
			沼津支部	127 人	1 人
			南富士支部	213 人	-2 人
			南伊豆	40 人	0 人
			静岡支部	310 人	0 人
			遠江	356 人	-2 人
			愛知県支部	1,199 人	0 人
			岐阜	447 人	-1 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（10月2日時点）

支部	会員数	前月比
オホーツク支部	241 人	2 人
根室支部	73 人	0 人
釧路支部	132 人	0 人
十勝支部	182 人	2 人

三重	384 人	0 人
奈良支部	396 人	0 人
和歌山県支部	217 人	0 人
滋賀	309 人	2 人
京都支部	750 人	3 人
大阪支部	1,740 人	3 人
ひょうご	962 人	1 人
鳥取県支部	240 人	4 人
島根県支部	201 人	1 人
岡山県支部	524 人	-1 人
広島県支部	503 人	0 人
山口県支部	297 人	-1 人
香川県支部	160 人	2 人
徳島県支部	350 人	1 人
高知支部	89 人	-1 人
愛媛	324 人	-1 人
北九州支部	231 人	1 人
福岡支部	535 人	-1 人
筑豊支部	214 人	0 人
筑後支部	142 人	0 人
佐賀県支部	270 人	0 人
長崎県支部	194 人	-1 人
熊本県支部	346 人	-2 人
大分県支部	202 人	-1 人
宮崎県支部	226 人	1 人
かごしま県支部	300 人	-5 人
やんばる支部	47 人	0 人
西表支部	48 人	0 人
	28,249 人	3 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。

これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦岳志）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。

10月の初旬、強い北風が吹いた翌朝、通勤途中の目黒川沿いでは風に乗って山から下って来たのか、多くのアキアカネが飛翔していました。また、ヒヨドリたちも日に日に賑やかになり、キンモクセイも街に香っています。

朝晩の冷え込みで体調管理が難しい季節です。お身体、ご自愛ください。

次号もどうぞよろしくお願いたします。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2023年10月号・通巻261号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2023年10月25日

◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/原元奈津子/萩原洋平
〒141-0031

東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org